2027年度

学生募集要項

総合型選抜

ＡＯＶＡ（アオバ）選抜（１期）

未来のエスキースを描く。

TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY

東北工業大学

目　　次

Ⅰ．アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）
1．東北工業大学の建学の精神・教育理念 …… 1
2．課程・学科の教育方針／アドミッション・ポリシー …… 2

Ⅱ．2027 年度入学者選抜の概要
1．募集人員 …… 3
2．入試日程 …… 3

Ⅲ．AOVA 選抜（1 期）概要
1．求める学生像（アドミッション・ポリシー）…… 4
2．入試の特徴 …… 4
3．出願資格 …… 4
4．入試スケジュール …… 4
5．選抜方法 …… 4
6．試験場 …… 5
7．試験の時間等 …… 6
8．合格者発表 …… 6
9．入学手続 …… 6

Ⅳ．出願方法（Web 出願）・出願書類
1．出願方法（Web 出願）…… 7
2．出願書類 …… 7
3．出願書類提出上の諸注意 …… 7
4．検定料 …… 8

Ⅴ．試験に関する事項等
1．試験当日の諸注意 …… 9
2．個人情報の取り扱いについて …… 9
3．特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談 …… 9
4．入学手続 …… 10
5．納付金（学費等）…… 10
6．入学金優遇制度・資格取得奨学金制度のご案内 …… 11
7．入学前教育 …… 11
8．入学前スクーリング …… 11

志望理由書 …… 12
活動記録報告書（様式１：「活動記録重視型」用）記入例 …… 13
活動記録報告書（様式２：「探究活動重視型」用）記入例 …… 15
活動記録報告書（様式１：「活動記録重視型」用） …… 16
活動記録報告書（様式２：「探究活動重視型」用） …… 18
座席配慮申請書 …… 19

Ⅰ．アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

1．東北工業大学の建学の精神・教育理念

建学の精神

わが国、特に東北地方の産業界で指導的役割を担う高度の技術者を養成する

ブランドスローガン

未来のエスキースを描く。

大学の理念

人間・環境を重視した、豊かな生活のための学問を創造し、それらの統合を目指す教育・研究により、持続可能な社会の発展に寄与する

教育方針

専門家として必要な素地、調和のとれた人格、優れた創造力と実行力を備えた人材の育成

本学の学生が身に付けるべき「共通学士力」

創造力	培った知識・技能を用いて、積極的・主体的にチャレンジし、学問・技術・環境・製品・サービス等、社会に役立つ新たな価値を創造することができる。	① 情報収集・分析力	課題発見・解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査することができ、それらの情報を論理的かつ多角的に分析して、現状を正しく把握することができる。
		② 論理的思考力	
		③ 課題発見・解決力	現象や事実の中に隠れている問題点とその要因を発見して、解決すべき課題を設定することができ、さまざまな条件を考慮して解決策を具体化し、実行に移すことができる。
統合力	創造したものを応用して、社会や人類のために正しく役立てることができるとともに、異文化、異分野、考えの異なるモノや人、多様な物事を組み合わせる柔軟な発想ができ、他者や地域との連携・協力・共創により、社会に貢献することができる。	④ コミュニケーション力	自らの考えをまとめ、的確な方法・表現で主張することができ、多様な文化・分野の価値観の違いを理解し、他者と協調することができる。
		⑤ セルフマネジメント力	向上心を持って学びを継続し、職業人としての意識を高めるとともに、修得した技術や知識を、社会の一員として主体的に地域の持続的発展のため役立てることができる。

AEGGポリシー

A 入学者受入の方針（抜粋版） Admission Policy

本学の人材育成の目標達成のため、入学後の成長が期待される人材として、高等学校等において身につけておくべき資質・能力を、以下に示す。

【入学までに身につけておくべき資質・能力】
1. 本学で学ぶ上での基本となる基礎学力（数学・理科・国語・英語など、高等学校で学ぶ全ての教科・科目）と総合的な判断力
2. 専門分野に秀でた能力
3. 意欲的で明確な目的意識
4. 多様な活動実績や一芸に秀でた能力

各選抜において、上記【入学までに身につけておくべき資質・能力】の１～４のうち、いずれかを評価して入学生を受け入れる。

※詳細はこちら

E 教育課程表の編成・実施の方針 Education Policy / Curriculum Policy

G1ポリシーに掲げる学士力を身に付けさせるため、以下の方針で教育を行う。

1. 幅広い知識と理解力を養うとともに、共通学士力と専門学士力を身に付けさせるため、体系的な教養教育と専門教育のカリキュラムを編成する。
2. 学士力の向上を意識して学修させるため、各科目と学士力の対応関係を明示するとともに、科目間の繋がりを明確にしたモデルカリキュラムを示す。
3. 学士力の達成度を常に把握し、個々の学生に応じたきめ細かな教育を施すため、初年次から卒業までの継続的な少人数教育並びに個別的学修支援を行う。
4. 科目ごとの成績評価と、身に付けるべき学士力との対応関係に基づき、学修成果（学士力到達度）を明示する。

G1 学位授与方針 Graduation Policy / Diploma Policy

本学は、本学が定める教育目的及び教育方針に基づき、各学科所定の卒業要件単位を修得することを通して以下の学士力を身に付けた学生に対し、卒業を認定し「学士」の学位を授与する。

1. 「共通学士力」を身に付けている。
2. 各専門分野（学部・学科）における「専門学士力」を身に付けている。

「2026 年４月現在」

G2 学生の指導方針 Guidance Policy

本学学生の個性を重んじ、その成長と進路の自己設計のため、また、G1ポリシーに掲げる学士力を身に付けさせるため、以下の方針で学生の指導を行う。

1. 学内外の多様な正課外活動の体験を通して、社会の一員としての意識を醸成するための指導を行う。
2. キャリア教育並びに専門教育科目、研修等を通して、職業人としての意識を醸成するための指導を行う。

2．課程・学科の教育方針／アドミッション・ポリシー

工学部	【教育方針】	【アドミッション・ポリシー】
電気電子工学課程	電気工学と電子工学を基盤として、システム、センシング、デバイスについて研究を行うと共に、学生が専門分野の知識と技術、さらには異分野との融合・学際領域も含む幅広い知識を修得し、俯瞰的視野を養う実践的教育を行うことにより、将来、ハードウェア、ソフトウェア両技術に柔軟に対応できる人材を育成する。	本学で定める入学条件に加え、以下の条件を満たす人の入学を強く希望する。 1. 電気電子工学に興味を持ち、この分野に関して自ら学び・自ら考え、さらに新しいことに自ら挑もうとする強い意志のある人 2. 今日の高度情報化社会における電気電子、医療、電力、自動車産業の分野で活躍し、自らの専門知識と技術で社会の役に立ちたいと考えている積極性のある人
情報通信工学課程	21 世紀の豊かな人間社会を創る上で重要な技術基盤である情報通信技術をソフトウェア、ハードウェアの双方に関し深く教育・研究すると共に、異分野との融合・学際領域も含む幅広い知識を修得し、俯瞰的視野を養うことにより、それらを統合・発展させて社会に貢献できる人材を育成する。	高度情報化社会を支えている情報通信分野に関心を抱き、将来この分野で活躍したいとの意欲と目的を持ち、基礎学力を身に付け総合的な判断力を有する者、あるいは情報通信分野に秀でた能力を有する者、多様な活動実績等を有する者を求める。
都市工学課程	建設技術に関する学術を広く教育・研究すると共に、社会の要請に十分対応できる専門的知識及び科学的知識を身に付け、かつ事業あるいは技術のマネジメント能力を有し、異分野との融合・学際領域も含む幅広い知識・俯瞰的視野及び良識と倫理観をもち、地域社会において実践的な課題を解決する能力を備えた土木・建設技術者を育成する。	社会基盤の計画と建設および維持管理に関心を持ち、土木分野におけるリーダーまたはプロフェッショナルとして、地域の歴史や風土を生かした未来をデザインし、心豊かに暮らせる個性的で良質な地域社会を創り出そうとする、その意欲と能力のある人を求める。
環境応用化学課程	応用化学および環境学の体系的教育を基礎として、材料開発とその管理・製造技術と、環境影響評価と管理、エネルギーおよび環境保全技術について学び、専門分野の知識・技術と幅広い知識・俯瞰的視野を修得し、もって持続可能な社会の実現および地域社会の発展をめざして創造的に活躍することのできる化学技術者・環境保全技術者を育成する。	材料・素材開発などの応用化学やそれを工業化するための化学工学技術、化学物質による人体・生態系への影響評価と公害防止などの環境保全技術に関心を持ち、基礎学力と高い倫理観を身に付け、持続可能な社会を実現していくための工学に根ざした専門能力を築き上げる意欲を持つ人を求める。

建築学部	【教育方針】	【アドミッション・ポリシー】
建築学科	学生個々の主体的学びを促し、教育課程内外および国内外でのさまざまな議論の場を通じて自信と創造力を養い、建物の作り手、使い手双方の視点を兼ね備えた社会に貢献できる建築技術者・設計者を育成する。	●本学科の教育思念を理解した上で、私たちの身近にある暮らしや地域 / 国際社会における事象に強い関心や興味を抱き、より豊かな暮らしと未来のための生活・地域環境づくりに創造的に、そして真摯に取り組む姿勢と、目標や夢、そして高い倫理観を持つ人を求める。 ●将来、本学科で修得した知識と技能を活かして地域・社会で活躍する建築技術者 / 設計者を目指して努力しようとする人を入学試験により選抜する。

ライフデザイン学部	【教育方針】	【アドミッション・ポリシー】
産業デザイン学科	人々の生活を豊かにする製品や情報システムを総合的な見地から企画、設計、生産するために必要な感性と技術を教育・研究すると共に、それを創造的に作りあげることができる人材を育成する。	将来、デザイナーや各種クリエイターとして活躍したい、あるいはデザインの学びを様々な仕事に活かしたいと考えている積極的な意欲のある学生を求める。
生活デザイン学科	健康で文化的な生活を守り、住まいや地域社会などの基本的な生活手段を守りながら、安全で安心な暮らしと豊かな生活環境を総合的にデザインすることができる人材を育成する。	本学科の教育理念を理解したうえで、以下の事柄の二つ以上に向学心や意欲を有する学生を受け入れる方針とする。 1. 福祉・文化・環境などの領域における持続可能なまちづくりにかかわる学びへの向学心があること。 2. 生活・地域にかかわる実務的な知識・技術・デザイン力を身につけたいという具体的目標を有していること。 3. 身の回りの住まいやくらしに関心をもち、公共の福祉に貢献できるよう自己研さんを重ねるつよい意志や継続力があること。
経営デザイン学科	企業組織のマネージメント及び企業の環境マネージメントを中心とする経済・経営を学ぶと共に、情報技術を含む高いコミュニケーション能力と国際的なセンスを持ち、現代の経営スタイルを身につけた経営者、管理者、起業を志す人材を育成する。	●経済学、経営学、会計学およびそれらをつなぐ技術としての情報通信技術（ICT）を、横断的に学ぶ意欲を持っていること。 ●経営組織マネジメントの分野に関して、自ら学び、自ら考え、日常生活で生じる社会現象に興味・関心を持っていること。 ●地域社会の持続的な発展のために、コミュニケーション能力を発揮して、地域社会の課題解決に取組めること。

Ⅱ．2027年度入学者選抜の概要

1．募集人員

学部／課程・学科募集人員 ＼ 入試区分			AOVA選抜（1期）	AOVA女子特別選抜	指定校推薦型選抜	公募制推薦型選抜	AOVA選抜（2期）	大学入学共通テスト利用選抜 1期	大学入学共通テスト利用選抜 2期	一般選抜（A日程） 全課程・学科併願型	一般選抜（A日程） 課程・学科指定型	一般選抜（B日程）	社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜 編入学選抜
工学部	電気電子工学課程	120	22	4	28	4	4	15	4	15	20	4	若干名
工学部	情報通信工学課程	120	22	4	28	4	4	15	4	15	20	4	若干名
工学部	都市工学課程	75	16	3	19	3	3	8	3	8	9	3	若干名
工学部	環境応用化学課程	50	11	2	13	2	2	5	2	5	6	2	若干名
工学部	小　計	365	71	13	88	13	13	43	13	43	55	13	若干名
建築学部	建築学科	140	26	－	34	5	5	19	5	18	23	5	若干名
建築学部	小　計	140	26	－	34	5	5	19	5	18	23	5	若干名
ライフデザイン学部	産業デザイン学科	80	18	－	20	3	3	10	3	9	11	3	若干名
ライフデザイン学部	生活デザイン学科	80	18	－	20	3	3	10	3	9	11	3	若干名
ライフデザイン学部	経営デザイン学科	95	21	－	25	3	4	12	3	11	13	3	若干名
ライフデザイン学部	小　計	255	57	－	65	9	10	32	9	29	35	9	若干名
合　計		760	154	13	187	27	28	94	27	90	113	27	若干名

2．入試日程

入試区分		出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期限
AOVA選抜（1期）		2026年9月14日(月)～2026年9月30日(水)	2026年10月14日(水)	2026年11月2日(月) 15時予定	2026年11月30日(月)
AOVA女子特別選抜		2026年9月14日(月)～2026年9月30日(水)	2026年10月14日(水)	2026年11月2日(月) 15時予定	2026年11月30日(月)
指定校推薦型選抜		2026年11月2日(月)～2026年11月9日(月)	2026年11月19日(木)	2026年12月1日(火) 15時予定	2026年12月22日(火)
公募制推薦型選抜		2026年11月30日(月)～2026年12月9日(水)	2026年12月18日(金)	2026年12月25日(金) 15時予定	2027年1月15日(金)
AOVA選抜（2期）		2026年11月30日(月)～2026年12月9日(水)	2026年12月18日(金)	2026年12月25日(金) 15時予定	2027年1月15日(金)
大学入学共通テスト利用選抜	（1期）	2027年1月5日(火)～2027年1月29日(金)	個別試験は課さない	2027年2月19日(金) 15時予定	1次手続期限：2027年3月2日(火) 2次手続期限：2027年3月10日(水)
大学入学共通テスト利用選抜	（2期）	2027年2月8日(月)～2027年2月24日(水)	個別試験は課さない	2027年3月12日(金) 15時予定	2027年3月19日(金)
一般選抜（A日程）	全課程・学科併願型	2027年1月5日(火)～2027年1月20日(水)	2027年2月4日(木)	2027年2月19日(金) 15時予定	1次手続期限：2027年3月2日(火) 2次手続期限：2027年3月10日(水)
一般選抜（A日程）	課程・学科指定型	2027年1月5日(火)～2027年1月20日(水)	2027年2月5日(金)	2027年2月19日(金) 15時予定	1次手続期限：2027年3月2日(火) 2次手続期限：2027年3月10日(水)
一般選抜（B日程）		2027年2月8日(月)～2027年2月24日(水)	2027年3月5日(金)	2027年3月12日(金) 15時予定	2027年3月19日(金)
社会人特別選抜	（1期）	2026年10月5日(月)～2026年10月20日(火)	2026年11月19日(木)	2026年12月1日(火) 15時予定	2026年12月22日(火)
社会人特別選抜	（2期）	2027年2月1日(月)～2027年2月16日(火)	2027年3月5日(金)	2027年3月12日(金) 15時予定	2027年3月19日(金)
外国人留学生特別選抜	（1期）	2026年10月5日(月)～2026年10月20日(火)	2026年11月19日(木)	2026年12月1日(火) 15時予定	2026年12月22日(火)
外国人留学生特別選抜	（2期）	2027年2月1日(月)～2027年2月16日(火)	2027年3月5日(金)	2027年3月12日(金) 15時予定	2027年3月19日(金)
編入学選抜		2026年10月5日(月)～2026年10月20日(火)	2026年11月19日(木)	2026年12月1日(火) 15時予定	2026年12月22日(火)

Ⅲ．AOVA選抜（1期）概要

1．求める学生像（アドミッション・ポリシー）

学業成績にとらわれず、文化部、運動部、ボランティア活動、探究活動等の様々な活動に優れた実績と成果をあげた、Activity（行動力）、Originality（独創性）、Vitality（活力）、Ability（才能）を備えた者。

2．入試の特徴

AOVA 選抜（1期）は、「書類審査」、「論述試験（模擬講義）」および「面接」を総合評価して選抜する入試制度です。AOVA とは、Activity（行動力）、Originality（独創性）、Vitality（活力）、Ability（才能）を備えた者を選抜対象とする入試趣旨の頭文字であり、本学所在地の杜の都仙台をイメージし、本学独自の入試制度の意味合いをもちます。高等学校長の推薦書は不要で、**他大学との併願**も可能であり、現役生だけでなく既卒者も受験できます。

「**活動記録重視型**」、「**探究活動重視型**」、「**総合評価型**」の 3 つの選抜方法があります。出願資格は同じですが、出願時に選抜方法を選択しなければなりません。

3．出願資格

次の（1）～（3）のいずれかに該当する者。

（1）高等学校または中等教育学校を卒業した者および 2027 年 3 月卒業見込みの者。

（2）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および 2027 年 3 月修了見込みの者。

（3）学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2027 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者。

4．入試スケジュール

出願期間	2026 年 9 月 14 日（月）～ 9 月 30 日（水）必着
試験日	2026 年 10 月 14 日（水）
合格者発表	2026 年 11 月 2 日（月）15：00 予定
入学手続期限	2026 年 11 月 30 日（月）

5．選抜方法

出願時に、「**活動記録重視型**」、「**探究活動重視型**」、「**総合評価型**」のいずれかを選択してください。

活動記録重視型

＜特徴＞

活動記録重視型は、「調査書または活動記録報告書」、「論述試験（模擬講義）」、「面接」を総合的に評価して選抜します。工学、建築学、ライフデザイン学に関する専門知識や関連資格の取得、課外活動などの実績を積極的に評価します。（100 点満点）

試験項目	点数	内　　容
書類審査	30 点	「調査書」と「活動記録報告書」を、本学独自の評価方法によってそれぞれ 30 点満点で点数化し、点数の高い方を書類審査の点数として合否判定に利用します。
論述試験 （模擬講義）	40 点	15 分程度の志望課程・学科の模擬講義を受講し※1、講義中で用いられるキーワードの説明の要約※2と、講義の中で示される課題について論述します（100 字程度）。模擬講義の受講も含め、試験時間は 60 分です。 論述した内容から、講義内容を理解する力、文章表現力などを、評価します。 ※ 1：受講中にメモを取ることができます。 ※ 2：要約文の文字数の指定はありません。
面接	30 点	志望理由書を参考に 15 分程度の個別面接を行います。積極的に自己アピールすることも認められ、自分でまとめた資料や作品を持ち込むことも可能です。 ※情報通信工学課程では、基礎的な数学について質問をすることがあります。 ※産業デザイン学科の受験者は、できるだけ制作や研究の成果を持ち込むことが望まれます。

探究活動重視型

＜特徴＞

探究活動重視型では、「調査書または活動記録報告書」、「論述試験（模擬講義）」、「面接」を総合的に評価して選抜します。高等学校在学中に行った探究活動の成果や実績などを積極的に評価します。（100 点満点）

試験項目	点数	内　　容
書類審査	30 点	「調査書」と「活動記録報告書」を、本学独自の評価方法によってそれぞれ 30 点満点で点数化し、点数の高い方を書類審査の点数として合否判定に利用します。
論述試験 （模擬講義）	40 点	15 分程度の志望課程・学科の模擬講義を受講し※1、講義中で用いられるキーワードの説明の要約※2と、講義の中で示される課題について論述します（100 字程度）。模擬講義の受講も含め、試験時間は 60 分です。 論述した内容から、講義内容を理解する力、文章表現力などを、評価します。 ※ 1：受講中にメモを取ることができます。 ※ 2：要約文の文字数の指定はありません。
面接	30 点	志望理由書を参考に 15 分程度の個別面接を行います。積極的に自己アピールすることも認められ、自分でまとめた資料や作品を持ち込むことも可能です。 ※探究活動重視型で出願した者は、探究活動に関わるプレゼンテーションを行うこと（3分程度）が望まれます。 ※情報通信工学課程では、基礎的な数学について質問をすることがあります。 ※産業デザイン学科の受験者は、できるだけ制作や研究の成果を持ち込むことが望まれます。

総合評価型

＜特徴＞

総合評価型は、「調査書」、「論述試験（模擬講義）」、「面接」を総合的に評価して選抜します。本学への興味、関心、意欲、熱意など、本学で学びたいという強い意志を持った人物を多面的・総合的に評価します。（100 点満点）

試験項目	点　数	内　　容
書類審査	30 点	「調査書」を本学独自の評価方法によって 30 点満点で点数化し、合否判定に利用します。
論述試験 （模擬講義）	40 点	15 分程度の志望課程・学科の模擬講義を受講し※1、講義中で用いられるキーワードの説明の要約※2と、講義の中で示される課題について論述します（100 字程度）。模擬講義の受講も含め、試験時間は 60 分です。 論述した内容から、講義内容を理解する力、文章表現力などを、評価します。 ※ 1：受講中にメモを取ることができます。 ※ 2：要約文の文字数の指定はありません。
面接	30 点	志望理由書を参考に 15 分程度の個別面接を行います。積極的に自己アピールすることも認められ、自分でまとめた資料や作品を持ち込むことも可能です。 ※情報通信工学課程では、基礎的な数学について質問をすることがあります。 ※産業デザイン学科の受験者は、できるだけ制作や研究の成果を持ち込むことが望まれます。

6．試験場

仙台（本学八木山キャンパス）

〒 982-8577　宮城県仙台市太白区八木山香澄町 35 番 1 号

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

７．試験の時間等

時間 課程・学科	9：00 ～ 10：00	10：20 ～ 11：20	11：20 ～ 12：10	12：30 ～
全課程・全学科	受験者入室	論述試験（模擬講義）	昼食	面接

８．合格者発表

2026 年 11 月 2 日（月）15：00 予定

受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」に合否を開示します。なお、電話による問い合わせには応じかねます。

９．入学手続

合格者発表後に受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」でご確認ください。

入学手続に関する郵送物はありません。受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」に掲載する「入学手続の手引き」等により、入学手続を期日までに行ってください。

なお、入学手続期限は 2026 年 11 月 30 日（月）です。入学手続は、「入学手続時納付金の納入」（P.10 参照）を行ったうえで、受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」での「入学手続情報の入力」を行うことにより完了となりますので、注意してください。

Ⅳ．出願方法（Web出願）・出願書類

1．出願方法（Web 出願）

受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」へ事前登録が必要です。登録後、受験する選抜区分を選択し、出願登録を行ってください。なお、Web 出願ページは出願受付開始日に公開します。

2．出願書類

選抜方式	提出書類			
活動記録重視型	顔写真データ （出願登録時にアップロード）	調査書	志望理由書	活動記録報告書 （様式１：「活動記録重視型」用）
探究活動重視型	顔写真データ （出願登録時にアップロード）	調査書	志望理由書	活動記録報告書 （様式２：「探究活動重視型」用）
総 合 評 価 型	顔写真データ （出願登録時にアップロード）	調査書	志望理由書	

※座席配慮申請書（配慮を希望する者のみ）

3．出願書類提出上の諸注意

【写真】

・Web 出願の手順に従ってアップロードしてください。
・写真は、最近３か月以内に撮影したもので、上半身、正面向き、無帽、背景が無地のものを使用してください。なお、入学後学生証の写真として使用するので制服ではなく**私服**で撮影してください。
・試験当日の本人確認に使用しますので、試験当日と著しく異なってはいけません。

【調査書】

・文部科学省の指示する様式に従ったもので、出身高等学校長が証明し厳封したもの。ただし、出身高等学校の調査書発行が困難な場合は「単位修得証明書」を提出してください。なお、すでに他の大学・短大・専門学校を卒業された方（卒業見込みを含む）は、出身大学・出身学校の成績証明書を併せて提出してください。
・高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格者は、「合格成績証明書」を提出してください。

【志望理由書】

・本学所定の様式（募集要項 P.12 または本学 Web サイトからダウンロードして印刷）に志願者本人が記入したものを提出してください。

【活動記録報告書】

※活動記録重視型は様式１:「活動記録重視型」用を提出。探究活動重視型は様式２:「探究活動重視型」用を提出。総合評価型は提出不要。

〈活動記録重視型〉記入例 P.13・14

・本学所定の様式（様式１：「活動記録重視型」用、募集要項 P.16・17 または本学 Web サイトからダウンロードして印刷）に、高等学校在学中の課外活動の状況、取得した資格などを志願者本人が記入してください。（資格（検定）は、取得の時期を問いません。）なお、活動記録報告書の**記載事項を証明する書類を必ず添付してください**。証明する書類がないと評価の対象にならない場合があります。
　（例）賞状・新聞記事・免許証・認定証の写し等、団体競技においてはメンバー表等。ただし校内における活動歴（主将・生徒会役員等）は調査書の特別活動記録欄の記入をもって証明されたものとします。
・同一の大会・コンクールにおいては最高位の成績のみ記載してください。
　※活動記録報告書は、**両面印刷**したものに必要事項を記載してください。両面印刷できない場合は、片面印刷したもの２枚をホチキス止め（用紙左上）して提出してください。

〈探究活動重視型〉記入例 P.15

・本学所定の様式（様式２：「探究活動重視型」用、募集要項 P.18 または本学 Web サイトからダウンロードして印刷）に、高等学校在学中に個人またはグループで行った探究活動の成果や実績などについて、志願者本人が記載してください。なお、受賞歴などについては、活動記録報告書の**記載事項を証明する書類等を必ず添付してください。**証明する書類がないと評価の対象とならない場合があります。
　（例）大会プログラム・賞状・新聞記事の写し等。
・項目１～３には、高等学校在学中に複数のテーマで探究活動を行った場合でも一つの探究活動の取組に絞って記載してください。
・項目４には、項目１～３に記載のテーマ以外でも発表会等の参加経験、受賞歴がある場合は記載してかまいません。

【座席配慮申請書】　※ 配慮を希望する者のみ（座席配慮を希望・申請しない場合には、提出・郵送は不要です。）

・視力が著しく悪いなどで、高校時代に教室内での座席配慮を受けていた者で、論述試験においても座席配慮（前から１～２列目の座席）を希望する場合は、事前に座席配慮の申請をすることができます。こちらで申請内容を確認し、座席位置を指定します。
・座席配慮を申請する場合は、本学所定の様式（募集要項 P.19 または本学 Web サイトからダウンロードして印刷）に必要事項を記入し、調査書等の出願書類に同封し期日までに郵送してください。その際、**視力検査結果（写）等の客観的に証明できる書類を必ず添付してください。**
・なお、論述試験の試験室については、普段講義で利用している教室であり、後方の座席からでも十分に講義動画を視聴することができます。

【出願書類の送付】

・Web 出願登録完了画面から宛名ラベルを印刷し、市販の封筒に貼付してください。宛名ラベルを印刷できないときは、封筒に直接宛名ラベルの内容を転記してください。その封筒に必要書類を封入し、**簡易書留**で郵送してください。**出願締め切り日必着**で、原則として大学窓口での直接受理は行いません。（当日消印有効ではありません。）また、受理した書類および検定料は、理由のいかんに関わらず返還いたしません。

４．検定料

検　定　料	**30,000 円**
	コンビニエンスストア、クレジットカード、金融機関 ATM、インターネットバンキングのいずれかの支払い方法を選択できます。詳細については、本学 Web サイトの「入試情報」に掲載している「Web 出願ガイド」をご覧ください。

〔注意〕**AOVA 女子特別選抜に出願し、AOVA 選抜（１期）総合評価型に追加出願する場合**の、出願書類の送付、検定料の支払いについては、AOVA 女子特別選抜の募集要項 P.6 の「出願方法（Web 出願）・出願書類」をご覧ください。

Ⅴ．試験に関する事項等

1．試験当日の諸注意

【受験票について】

受験票の発行	2026 年 10 月 6 日（火）10：00 ～
	受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」から、受験票（PDF 形式）を発行してください。A4 サイズ・縦向きで印刷し、試験当日は必ず試験会場に持参してください。受験票の郵送は行いません。

【受験上の留意事項】

・遅刻は、試験開始後 20 分まで認めます。
・受験票以外で机上に置くことを許可するものは、鉛筆・鉛筆キャップ・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り・時計（計時機能のみ）・ハンカチ・目薬・ティッシュペーパー（袋から出したもの）およびメガネです。
・試験室に時計はありません。
・昼食は各自用意し、試験室の自席で食事してください。

【不正行為の取り扱いについて】

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。
　ア．解答用紙等へ故意に虚偽の記入（出願時に本人以外の写真を提出することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
　イ．カンニング（メモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
　ウ．他の受験者に答えを教えるなどカンニングの手助けをすること。
　エ．配布された問題用紙を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
　オ．解答用紙を試験室から持ち出すこと。
　カ．「はじめ。」の指示の前に、問題用紙を開いたり解答を始めたりすること。
　キ．試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
　ク．試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること。
　ケ．「やめ。鉛筆を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

② 次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。
　ア．試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすること。
　イ．試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
　ウ．試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
　エ．試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
　オ．試験場において監督者等の指示に従わないこと。
　カ．その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

2．個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された、氏名、住所その他の個人情報および入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者選抜、入学手続、入学前教育、入学後の学生支援、修学指導、学修成果に係る調査分析およびこれらに付随する業務を行うために利用します。その他の目的に利用することはありません。

3．特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する方で、受験上および修学上で特別な配慮を希望する場合は、2026 年 8 月 7 日（金）までに下記連絡先まで申し出てください。相談の内容および時期によっては試験までに対応できず、特別措置による受験ができなくなることもありますので、ご了承願います。

［連絡先］　東北工業大学　入試広報課　022-305-3111

４．入学手続

入学手続の詳細は合格者発表後に受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」でご確認ください。

入学手続に関する郵送物はありません。受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」に掲載する「入学手続の手引き」等により、入学手続を期日までに行ってください。

なお、入学手続は、入学手続期間内に下記該当の納付金を納入し、受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」での「入学手続情報の入力」を行うことにより完了します。入学手続時納付金は、学費とその他・委託徴収金の合計になります。

学部／課程・学科	入学手続時納付金
工学部（全課程）	９７３，６６０円
建築学部建築学科	９７３，６６０円
ライフデザイン学部産業デザイン学科	９７３，６６０円
ライフデザイン学部生活デザイン学科	８３８，６６０円
ライフデザイン学部経営デザイン学科	７７３，６６０円

［注意］
・一旦納入された入学金は事情のいかんにかかわらず、返還いたしません。
・入学手続期間内に所定の手続きを行わなかった場合は、入学の意志がないものとみなします。
・入学手続を完了された方で、入学辞退を希望する場合は、2027 年 3 月 31 日（水）17 時（必着）までに入学辞退届と入学納付金返還請求書の提出を行えば、入学金を除く全ての納付金を返還します。

５．納付金（学費等）

（1）学費

2027 年度入学生に適用する学費は次のとおりです。

工学部（全課程）・建築学部（建築学科）・ライフデザイン学部（産業デザイン学科）　単位（円）

年次／費用	1年次 入学手続時	1年次 10月	1年次 計	2年次 年額	3年次 年額	4年次 年額	摘要
入学金	250,000	——	250,000	——	——	——	入学時のみ
授業料	505,000	505,000	1,010,000	1,010,000	1,010,000	1,010,000	年額を２期に分納
設備負担金	160,000	160,000	320,000	320,000	320,000	320,000	
学生諸費分担金	10,000	10,000	20,000	20,000	20,000	20,000	
計	925,000	675,000	1,600,000	1,350,000	1,350,000	1,350,000	

ライフデザイン学部（生活デザイン学科）　単位（円）

年次／費用	1年次 入学手続時	1年次 10月	1年次 計	2年次 年額	3年次 年額	4年次 年額	摘要
入学金	250,000	——	250,000	——	——	——	入学時のみ
授業料	385,000	385,000	770,000	770,000	770,000	770,000	年額を２期に分納
設備負担金	145,000	145,000	290,000	290,000	290,000	290,000	
学生諸費分担金	10,000	10,000	20,000	20,000	20,000	20,000	
計	790,000	540,000	1,330,000	1,080,000	1,080,000	1,080,000	

ライフデザイン学部（経営デザイン学科）　単位（円）

年次／費用	1年次 入学手続時	1年次 10月	1年次 計	2年次 年額	3年次 年額	4年次 年額	摘要
入学金	250,000	——	250,000	——	——	——	入学時のみ
授業料	355,000	355,000	710,000	710,000	710,000	710,000	年額を２期に分納
設備負担金	110,000	110,000	220,000	220,000	220,000	220,000	
学生諸費分担金	10,000	10,000	20,000	20,000	20,000	20,000	
計	725,000	475,000	1,200,000	950,000	950,000	950,000	

（2）その他・委託徴収金（各学部／各課程・学科共通）　　単位（円）

年次／費用	1年次 入学手続時	1年次 10月	1年次 計	2年次 年額	3年次 年額	4年次 年額	摘要
学生教育研究災害傷害保険 賠償責任保険	4,660	——	4,660	——	——	——	4年分
後援会費	14,000	——	14,000	14,000	14,000	14,000	年額
学友会費	25,000	——	25,000	——	——	——	4年分
同窓会費	5,000	——	5,000	——	——	20,000	入学時：入会金 卒業時：終身会費
計	48,660	——	48,660	14,000	14,000	34,000	

［注１］入学課程・学科によっては、上記のほか学外オリエンテーション経費等があります。これらは、入学課程・学科により納入金額が異なりますので、後日送付する入学式案内通知に同封する通知書により各々納入してください。
［注２］本学では学園の施設整備資金の一部に充当させていただくため寄付金を募集しておりますが、あくまで任意の募集であり、入学以前にご協力をお願いすることは行っておりません。

6．入学金優遇制度・資格取得奨学金制度のご案内

（1）入学金優遇制度

この制度は経済的な負担の軽減を図るため、入学予定者の兄弟姉妹が東北工業大学の学部に在籍、または同時に入学※する場合に、入学手続時に納付した学費のうち入学金（250,000 円）を対象として助成（給付）する優遇制度です。（※同時入学者については内１名が対象となります。）**詳細は、合格者発表後に受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」でご確認ください。**

【申請資格】

①東北工業大学の学部へ入学予定である。
②申請時に兄弟姉妹が本学の学部に在籍している。または、同時に入学を予定している。
③入学手続の途中、または完了している。

（2）資格取得奨学金制度

この制度は、高校在学中に資格取得に励んだ専門学科出身者（ただし、高校在学中に本学に合格した専門高校卒業見込みの生徒）に対して、本学入学後、引き続き目的意識を持って意欲的に学習に取り組むことを期待して奨学金を給付する制度です。**詳細は、合格者発表後に受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」でご確認ください。**

支給区分			支給額
工業高校対象	農業高校対象	商業高校対象	
ジュニアマイスターゴールド	アグリマイスタープラチナ	全国商業高等学校協会主催検定試験の１級５種目以上取得者	25 万円
	アグリマイスターゴールド		
ジュニアマイスターシルバー	アグリマイスターシルバー	全国商業高等学校協会主催検定試験の１級４種目取得者	10 万円

7．入学前教育

本学では入学後の学修にスムーズに取り組むことができるよう、入学予定者に対して入学前教育を実施しております。詳細は合格者に別途通知します。

8．入学前スクーリング

本学では、合格者を対象に、新生活の不安を払拭して大学に慣れてもらうための入学前イベント（入学前スクーリング）を 12 月 19 日（土）、2027 年 3 月 16 日（火）に実施予定です。

入学前スクーリングの詳細は合格者発表後に受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」でご確認ください。大学生活をより楽しむために、ぜひご参加ください。

2027年度 東北工業大学 AOVA選抜（1期）

志望理由書

＊記入に当たっては、黒色のボールペンを使用し、楷書で丁寧に記入してください。

出願番号	

志望学部／課程·学科	学部		課程 学科
フリガナ		学校名等	学校
氏　　名			

1．あなたが本学の上記課程・学科を志望する理由を記入してください。

2．あなたが送りたい大学生活について記入してください。

3．大学の卒業後の進路（将来就きたい職業など）について記入してください。

4．能力、資質、経験、資格、興味・関心などを基に、特にアピールしたいことを記入してください。

未来のエスキースを描く。
東北工業大学

活動記録報告書
（様式１：「活動記録重視型」用）記入例

１．記載事項がない場合でも必ず提出してください。
２．記載事項を証明する書類を添付してください。

	ランク	基　　準	該当活動記録記入欄	件数
体育関係	A	＊チーム成績にとらわれず個人的に卓越した能力を有する者で、出身高校の校長および本学の課外活動顧問が推薦する者。 ＊全国大会の個人または団体成績８位以内の者	大会プログラム・新聞等(写し)を添付(メンバー表もつける) 同一大会は最高位の成績のみ記入	
	B	＊全国大会に個人または団体で出場した者 ＊東北大会等の個人または団体成績８位以内の者	２年次、朝日新聞社主催第〇〇回全国高校野球選手権全国大会に捕手として出場	1
		＊東北大会等に個人または団体で出場した者 ＊都道府県大会の個人成績16位以内の者 ＊都道府県大会の団体成績８位以内の者	調査書の特別活動記録欄に記載されているので証明書類は特に必要はありません	
	C	＊学校公認クラブ（部）の主将または部長を経験した者（１年以上） ＊武道の段位２段以上	野球部主将	1
	D	＊学校公認クラブ（部）に３年間継続して真面目に取り組んだ者	野球部３年間所属	1

注意事項

(1)団体競技の場合は出場チームの登録選手であること
(2)全国・東北大会等は県予選を経た大会であること
(3)東北大会等とは、東北大会・関東大会等のブロック大会であること
(4)同一大会の成績は最高の成績のみ記入すること
(5)主将または部長は学校公認のクラブ(部)の主将(部長)であること（１年以上）
(6)主催、大会規模、出場時学年を記入すること
(7)学校公認クラブ(部)や生徒会等の役職を経験した者は証明書類の添付は不要である

	ランク	基　　準	該当活動記録記入欄	件数
文化関係	A	＊チーム成績にとらわれず個人的に卓越した能力を有する者で、出身高校の校長および本学の課外活動顧問が推薦する者。 ＊全国大会のコンクール、研究発表会に個人で入賞し、特に優れた成績を修めた者 ＊公費により留学を経験した者（１年以上）		
	B	＊全国大会のコンクール、研究発表会に個人で出場、または団体で入賞した者 ＊東北大会等のコンクール、研究発表会に個人で入賞した者 ＊私費により留学を経験した者（６カ月以上）		
		＊東北大会等のコンクール、研究発表会に個人で出場、または団体で入賞した者 ＊国外研修を経験した者（２週間以上）		
	C	＊生徒会の会長または副会長を経験した者 ＊学校公認クラブ（部）の部長を経験した者（１年以上） ＊体育（文化）祭の実行委員長を経験した者 ＊囲碁または将棋の段位２段以上の者 ＊都道府県大会のコンクール、研究発表会に個人または団体で入賞した者	２年次に、生徒会副会長（任期一年）を経験	1
	D	＊ボーイ（ガール）スカウト・リーダーを経験した者 ＊ボランティア活動に３年間継続して真面目に取り組んだ者 ＊学校公認クラブ（部）に３年間継続して真面目に取り組んだ者	調査書の特別活動記録欄に記載されているので証明書類は特に必要はありません	

注意事項

(1)コンクール、研究発表会は公的機関またはこれに準じる機関の主催するものであること
(2)全国・東北大会等は県予選を経た大会であること
(3)東北大会等とは、東北大会・関東大会等のブロック大会であること
(4)同一大会の成績は最高の成績のみ記入すること
(5)留学は高校在学時のものに限る
(6)部長は、学校公認のクラブ(部)の部長であること（１年以上）
(7)主催、大会(コンクール)規模、出場(入賞)時学年を記入すること
(8)学校公認クラブ(部)や生徒会等の役職を経験した者は証明書類の添付は不要である

	ランク	資格検定等の名称	団体	基準	件数
資格関係	A	□英語外部検定		CEFR B1以上	
		□実用数学技能検定	日本数学検定協会	準１級以上	
		□技術英語能力検定	日本能率協会（JMA）	準プロフェッショナル以上	
		□日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	準１級以上	
		□珠算能力検定（日商）	日本商工会議所	１級	
		□簿記検定（日商）	日本商工会議所	２級以上	
		□ICTプロフィシエンシー検定（P検）	ICTプロフィシエンシー検定協会	１級	
		□レタリング技能検定	国際文化カレッジ	１級	
		□技能検定	厚生労働省	２級	
		□電気工事士	電気技術者試験センター	第１種	
		□電気主任技術者	電気技術者試験センター	第３種以上	
		□工事担任者（AI）	電気通信国家試験センター	総合通信	
		□応用情報技術者試験	情報処理推進機構		
		□基本情報技術者試験	情報処理推進機構		
		□情報処理安全確保支援士試験〈SC〉	情報処理推進機構		
		□公害防止管理者（大気・水質）	産業環境管理協会	２種	
		□環境計量士	日本環境測定分析協会		
		□色彩検定	色彩検定協会	１級	
	B	□英語外部検定		CEFR A2	
		■実用数学技能検定	日本数学検定協会	２級	
		□技術英語能力検定	日本能率協会（JMA）	１級	
		□日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	２級	
		□珠算能力検定（全珠）	全国珠算教育連盟	準１級	
		□珠算能力検定（日商）	日本商工会議所	２級	
		□簿記検定（日商）	日本商工会議所	３級	
		□ＰＣ検定（日商）	日本商工会議所	１級	
		□ビジネス英語検定（日商）	日本商工会議所	１級	
		□カラーコーディネータ		アドバンス	
		□ICTプロフィシエンシー		２級	
		□ディジタル技術検定		２級	
		□トレース技能検定		１級	
		□レタリング技能検定	国際文化カレッジ	２級	
		□技能検定	厚生労働省	３級	
		□工事担任者（AI）	電気通信国家試験センター	第一級アナログ通信	
		□工事担任者（DD）	電気通信国家試験センター	第一級デジタル通信	
		□ＩＴパスポート試験	情報処理推進機構		
		□公害防止管理者（大気・水質）	産業環境管理協会	４種	
		□建築CAD検定	全国建築ＣＡＤ連盟	準１級	
		□色彩検定	色彩検定協会	２級	
		□ＣＧクリエイター検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□ＣＧエンジニア検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□ＷＥＢデザイナー検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□画像処理エンジニア検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□マルチメディア検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□計算技術検定	全国工業高等学校長協会	１級	
		□情報技術検定	全国工業高等学校長協会	１級	
		□リスニング英語検定	全国工業高等学校長協会	１級	
		□情報処理検定	全国商業高等学校協会	１級	
		□ビジネス計算実務検定試験	全国商業高等学校協会	１級	
		□簿記実務検定	全国商業高等学校協会	１級	
		□商業経済検定	全国商業高等学校協会	１級	

	ランク	資格検定等の名称	団体	基準	件数
	C	□英語外部検定		CEFR A1	
		□実用数学技能検定	日本数学検定協会	準２級	
		□技術英語能力検定	日本能率協会（JMA）	２級	
		□日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	準２級	
		□珠算能力検定（全珠）	全国珠算教育連盟	準２級	
		□珠算能力検定（日商）	日本商工会議所	３級	
		□簿記検定（日商）	日本商工会議所	初級	
		□ＰＣ検定（日商）	日本商工会議所	２級	
		□ビジネス英語検定（日商）	日本商工会議所	２級	
		□カラーコーディネーター検定	東京商工会議所	スタンダード	
		□ICTプロフィシエンシー検定（P検）	ICTプロフィシエンシー検定協会	準２級	
		□トレース技能検定	中央工学校生涯学習センター	２級	
		□レタリング技能検定	国際文化カレッジ	３級	
		□電気工事士	電気技術者試験センター	第２種	
		□工事担任者（AI）	電気通信国家試験センター	第二級アナログ通信	
		□工事担任者（DD）	電気通信国家試験センター	第二級デジタル通信	
		□アマチュア無線技士	日本無線協会	第一級	
		□危険物取扱者	消防試験研究センター	乙種４類	
		□建築CAD検定	全国建築ＣＡＤ連盟	２級	
		□色彩検定	色彩検定協会	３級	
		□ＣＧクリエイター検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□ＣＧエンジニア検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□ＷＥＢデザイナー検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□画像処理エンジニア検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□マルチメディア検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□計算技術検定	全国工業高等学校長協会	２級	
		□情報技術検定	全国工業高等学校長協会	２級	
		□リスニング英語検定	全国工業高等学校長協会	２級	
		□情報処理検定	全国商業高等学校協会	２級	
		□ビジネス計算実務検定試験	全国商業高等学校協会	２級	
		□簿記実務検定	全国商業高等学校協会	２級	
		□商業経済検定	全国商業高等学校協会	２級	
		□ビジネス文書実務検定	全国商業高等学校協会	１級	
	D	□実用数学技能検定	日本数学検定協会	３級	
		□技術英語能力検定	日本能率協会（JMA）	３級	
		□日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	３級	
		□珠算能力検定（全珠）	全国珠算教育連盟	準３級	
		■ＰＣ検定（日商）	日本商工会議所	３級	
		□ビジネス英語検定（日商）	日本商工会議所	３級	
		□ICTプロフィシエンシー検定（P検）	ICTプロフィシエンシー検定協会	３級	
		□ディジタル技術検定	国際文化カレッジ	２級	
		□トレース技能検定	中央工学校生涯学習センター	３級	
		□アマチュア無線技士	日本無線協会	第二級	
		□危険物取扱者	消防試験研究センター	丙種	
		□建築CAD検定	全国建築ＣＡＤ連盟	３級	
		□計算技術検定	全国工業高等学校長協会	３級	
		□情報技術検定	全国工業高等学校長協会	３級	
		□情報処理検定	全国商業高等学校協会	３級	
		□ビジネス計算実務検定試験	全国商業高等学校協会	３級	
		□簿記実務検定	全国商業高等学校協会	３級	
		□商業経済検定	全国商業高等学校協会	３級	
		□ビジネス文書実務検定	全国商業高等学校協会	２級	
		□環境社会（eco）検定	東京商工会議所		

免許証・認定証等の写しを添付

注意事項

(1) ジュニアマイスターゴールド、ジュニアマイスターシルバー称号取得は追記事項記載欄に記入すること
(2) 資格（検定）は取得の時期を問わない
(3) 同一資格（検定）は上位の級（種）のみ記入すること
(4) 該当資格等に ■ を付すること
(5) 英語外部検定は公式スコアのみ利用できるものとし、CEFR レベルはスコアを取得した当時のものを適用することとする。また、実用英語技能検定は合格した級のスコアを対象とする。

追記事項記載欄（本表の資格・活動歴等に該当しない事項等を記入）

本欄に記載した事項については、その内容を審査の上、評価の対象とします

出願番号	志願者氏名
○○○○○○	フリガナ　コウ　ダイ　タ　ロウ 工大　太郎

志望学部／課程・学科	学校名等
工　学部　都市工学　課程 学科	○○高等　学校

A	B		C	D	＊1	＊2	＊3

●赤枠のみ記入

学年毎に異なるテーマで探究活動を行うなど、高等学校在学中に複数のテーマで探究活動を行った場合は、一つの探究活動の取組に絞って記載してください。各項目の記載にあたっては、様式の枠内におさまるよう、簡潔に記入してください。発表資料(パワーポイント資料やポスター発表用紙など)をコピー(A4サイズ)して添付してもかまいません。

探究活動のテーマを明記し、課題設定の経緯や設定の理由など具体的に記入してください。

成果に至る過程やプロセスについて具体的に記入してください。

成果について具体的に記入してください。

公的機関またはこれに準じる機関が主催した、全国・地方・都道府県レベル等の発表会の参加経験、受賞歴などを記載してください。大会プログラムや新聞、雑誌、賞状などのコピー(A4サイズ)を添付してください。上記(1～3に記載)のテーマ以外でも発表会等の参加経験、受賞歴がある場合は、記載してかまいません。

記入例

2027年度 東北工業大学 AOVA選抜（1期）

活動記録報告書（様式２：「探究活動重視型」用）

出願番号	志願者氏名
○○○○○○	フリガナ　コウダイ　ハナコ 工大　花子

志望学部／課程・学科	学校名
○○学部　○○課程 学科	○○高等学校

1．課題設定とその理由

私は、「○○○○○○○○○○○○○○」というテーマで探究活動を行った。
テーマ設定の理由は以下のとおりである。

2．成果に至る過程・プロセス

3．成果　※ 発表資料（パワーポイント資料やポスター発表用紙など）をコピー（A４サイズ）して添付してもかまいません。

4．各種発表会　※ 公的機関またはこれに準じる機関が主催した、全国・地方・都道府県レベル等の発表会の参加経験、受賞歴などを記載してください。大会プログラムや賞状などのコピー（A４サイズ）を添付してください。

・3年次に、○○コンテスト宮城県大会(○○賞)を経て全国大会に出場(○○賞)

・2年次に、「○○○○○○」をテーマに探究活動を行い、○○発表会に参加(○○賞)

＊記入に当たっては、黒色のボールペンを使用し、楷書で丁寧に記入してください。

〈参考〉「4．各種発表会」のランクと基準

ランク	基　準
A	全国レベルの研究発表会に個人（またはグループ）で入賞し、特に優れた成績を修めた者
B	全国レベルの研究発表会に個人（またはグループ）で出場した者 東北地区レベルの研究発表会に個人（またはグループ）で入賞した者
	東北地区レベルの研究発表会に個人（またはグループ）で出場した者
C	都道府県レベルの研究発表会に個人（またはグループ）で入賞した者
	都道府県レベルの研究発表会に個人（またはグループ）で出場した者
D	高校の「総合的な探究の時間」等において、熱心に探究活動に取り組んだ者

2027年度 東北工業大学 AOVA選抜（１期）

活動記録報告書
（様式１：「活動記録重視型」用）

１．記載事項がない場合でも必ず提出してください。
２．記載事項を証明する書類を添付してください。

	ランク	基　　準	該当活動記録記入欄	件数
体育関係	A	＊チーム成績にとらわれず個人的に卓越した能力を有する者で、出身高校の校長および本学の課外活動顧問が推薦する者。 ＊全国大会の個人または団体成績８位以内の者		
	B	＊全国大会に個人または団体で出場した者 ＊東北大会等の個人または団体成績８位以内の者		
		＊東北大会等に個人または団体で出場した者 ＊都道府県大会の個人成績16位以内の者 ＊都道府県大会の団体成績８位以内の者		
	C	＊学校公認クラブ（部）の主将または部長を経験した者（１年以上） ＊武道の段位２段以上		
	D	＊学校公認クラブ（部）に３年間継続して真面目に取り組んだ者		

注意事項

(1)団体競技の場合は出場チームの登録選手であること
(2)全国・東北大会等は県予選を経た大会であること
(3)東北大会等とは、東北大会・関東大会等のブロック大会であること
(4)同一大会の成績は最高の成績のみ記入すること
(5)主将または部長は学校公認のクラブ(部)の主将(部長)であること（１年以上）
(6)主催、大会規模、出場時学年を記入すること
(7)学校公認クラブ(部)や生徒会等の役職を経験した者は証明書類の添付は不要である

	ランク	基　　準	該当活動記録記入欄	件数
文化関係	A	＊チーム成績にとらわれず個人的に卓越した能力を有する者で、出身高校の校長および本学の課外活動顧問が推薦する者。 ＊全国大会のコンクール、研究発表会に個人で入賞し、特に優れた成績を修めた者 ＊公費により留学を経験した者（１年以上）		
	B	＊全国大会のコンクール、研究発表会に個人で出場、または団体で入賞した者 ＊東北大会等のコンクール、研究発表会に個人で入賞した者 ＊私費により留学を経験した者（６カ月以上）		
		＊東北大会等のコンクール、研究発表会に個人で出場、または団体で入賞した者 ＊国外研修を経験した者（２週間以上）		
	C	＊生徒会の会長または副会長を経験した者 ＊学校公認クラブ（部）の部長を経験した者（１年以上） ＊体育（文化）祭の実行委員長を経験した者 ＊囲碁または将棋の段位２段以上の者 ＊都道府県大会のコンクール、研究発表会に個人または団体で入賞した者		
	D	＊ボーイ（ガール）スカウト・リーダーを経験した者 ＊ボランティア活動に３年間継続して真面目に取り組んだ者 ＊学校公認クラブ（部）に３年間継続して真面目に取り組んだ者		

注意事項

(1)コンクール、研究発表会は公的機関またはこれに準じる機関の主催するものであること
(2)全国・東北大会等は県予選を経た大会であること
(3)東北大会等とは、東北大会・関東大会等のブロック大会であること
(4)同一大会の成績は最高の成績のみ記入すること
(5)留学は高校在学時のものに限る
(6)部長は、学校公認のクラブ(部)の部長であること（１年以上）
(7)主催、大会(コンクール)規模、出場(入賞)時学年を記入すること
(8)学校公認クラブ(部)や生徒会等の役職を経験した者は証明書類の添付は不要である

	ランク	資格検定等の名称	団体	基準	件数
資格関係	A	□英語外部検定		CEFR B1以上	
		□実用数学技能検定	日本数学検定協会	準１級以上	
		□技術英語能力検定	日本能率協会（JMA）	準プロフェッショナル以上	
		□日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	準１級以上	
		□珠算能力検定（日商）	日本商工会議所	１級	
		□簿記検定（日商）	日本商工会議所	２級以上	
		□ICTプロフィシエンシー検定（P検）	ICTプロフィシエンシー検定協会	１級	
		□レタリング技能検定	国際文化カレッジ	１級	
		□技能検定	厚生労働省	２級	
		□電気工事士	電気技術者試験センター	第１種	
		□電気主任技術者	電気技術者試験センター	第３種以上	
		□工事担任者（AI）	電気通信国家試験センター	総合通信	
		□応用情報技術者試験	情報処理推進機構		
		□基本情報技術者試験	情報処理推進機構		
		□情報処理安全確保支援士試験〈SC〉	情報処理推進機構		
		□公害防止管理者（大気・水質）	産業環境管理協会	２種	
		□環境計量士	日本環境測定分析協会		
		□色彩検定	色彩検定協会	１級	
	B	□英語外部検定		CEFR A2	
		□実用数学技能検定	日本数学検定協会	２級	
		□技術英語能力検定	日本能率協会（JMA）	１級	
		□日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	２級	
		□珠算能力検定（全珠）	全国珠算教育連盟	準１級	
		□珠算能力検定（日商）	日本商工会議所	２級	
		□簿記検定（日商）	日本商工会議所	３級	
		□ＰＣ検定（日商）	日本商工会議所	１級	
		□ビジネス英語検定（日商）	日本商工会議所	１級	
		□カラーコーディネーター検定	東京商工会議所	アドバンス	
		□ICTプロフィシエンシー検定（P検）	ICTプロフィシエンシー検定協会	２級	
		□ディジタル技術検定	国際文化カレッジ	１級	
		□トレース技能検定	中央工学校生涯学習センター	１級	
		□レタリング技能検定	国際文化カレッジ	２級	
		□技能検定	厚生労働省	３級	
		□工事担任者（AI）	電気通信国家試験センター	第一級アナログ通信	
		□工事担任者（DD）	電気通信国家試験センター	第一級デジタル通信	
		□ＩＴパスポート試験	情報処理推進機構		
		□公害防止管理者（大気・水質）	産業環境管理協会	４種	
		□建築CAD検定	全国建築ＣＡＤ連盟	準１級	
		□色彩検定	色彩検定協会	２級	
		□ＣＧクリエイタ-検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□ＣＧエンジニア検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□ＷＥＢデザイナー検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□画像処理エンジニア検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□マルチメディア検定	CG-ARTS協会	エキスパート	
		□計算技術検定	全国工業高等学校長協会	１級	
		□情報技術検定	全国工業高等学校長協会	１級	
		□リスニング英語検定	全国工業高等学校長協会	１級	
		□情報処理検定	全国商業高等学校協会	１級	
		□ビジネス計算実務検定試験	全国商業高等学校協会	１級	
		□簿記実務検定	全国商業高等学校協会	１級	
		□商業経済検定	全国商業高等学校協会	１級	

	ランク	資格検定等の名称	団体	基準	件数
	C	□英語外部検定		CEFR A1	
		□実用数学技能検定	日本数学検定協会	準２級	
		□技術英語能力検定	日本能率協会（JMA）	２級	
		□日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	準２級	
		□珠算能力検定（全珠）	全国珠算教育連盟	準２級	
		□珠算能力検定（日商）	日本商工会議所	３級	
		□簿記検定（日商）	日本商工会議所	初級	
		□ＰＣ検定（日商）	日本商工会議所	２級	
		□ビジネス英語検定（日商）	日本商工会議所	２級	
		□カラーコーディネーター検定	東京商工会議所	スタンダード	
		□ICTプロフィシエンシー検定（P検）	ICTプロフィシエンシー検定協会	準２級	
		□トレース技能検定	中央工学校生涯学習センター	２級	
		□レタリング技能検定	国際文化カレッジ	３級	
		□電気工事士	電気技術者試験センター	第２種	
		□工事担任者（AI）	電気通信国家試験センター	第二級アナログ通信	
		□工事担任者（DD）	電気通信国家試験センター	第二級デジタル通信	
		□アマチュア無線技士	日本無線協会	第一級	
		□危険物取扱者	消防試験研究センター	乙種４類	
		□建築CAD検定	全国建築ＣＡＤ連盟	２級	
		□色彩検定	色彩検定協会	３級	
		□ＣＧクリエイタ-検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□ＣＧエンジニア検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□ＷＥＢデザイナー検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□画像処理エンジニア検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□マルチメディア検定	CG-ARTS協会	ベーシック	
		□計算技術検定	全国工業高等学校長協会	２級	
		□情報技術検定	全国工業高等学校長協会	２級	
		□リスニング英語検定	全国工業高等学校長協会	２級	
		□情報処理検定	全国商業高等学校協会	２級	
		□ビジネス計算実務検定試験	全国商業高等学校協会	２級	
		□簿記実務検定	全国商業高等学校協会	２級	
		□商業経済検定	全国商業高等学校協会	２級	
		□ビジネス文書実務検定	全国商業高等学校協会	１級	
	D	□実用数学技能検定	日本数学検定協会	３級	
		□技術英語能力検定	日本能率協会（JMA）	３級	
		□日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	３級	
		□珠算能力検定（全珠）	全国珠算教育連盟	準３級	
		□ＰＣ検定（日商）	日本商工会議所	３級	
		□ビジネス英語検定（日商）	日本商工会議所	３級	
		□ICTプロフィシエンシー検定（P検）	ICTプロフィシエンシー検定協会	３級	
		□ディジタル技術検定	国際文化カレッジ	２級	
		□トレース技能検定	中央工学校生涯学習センター	３級	
		□アマチュア無線技士	日本無線協会	第二級	
		□危険物取扱者	消防試験研究センター	丙種	
		□建築CAD検定	全国建築ＣＡＤ連盟	３級	
		□計算技術検定	全国工業高等学校長協会	３級	
		□情報技術検定	全国工業高等学校長協会	３級	
		□情報処理検定	全国商業高等学校協会	３級	
		□ビジネス計算実務検定試験	全国商業高等学校協会	３級	
		□簿記実務検定	全国商業高等学校協会	３級	
		□商業経済検定	全国商業高等学校協会	３級	
		□ビジネス文書実務検定	全国商業高等学校協会	２級	
		□環境社会（eco）検定	東京商工会議所		

注意事項

(1) ジュニアマイスターゴールド、ジュニアマイスターシルバー称号取得は追記事項記載欄に記入すること
(2) 資格（検定）は取得の時期を問わない
(3) 同一資格（検定）は上位の級（種）のみ記入すること
(4) 該当資格等に ■ を付すること
(5) 英語外部検定は公式スコアのみ利用できるものとし、CEFR レベルはスコアを取得した当時のものを適用することとする。また、実用英語技能検定は合格した級のスコアを対象とする。

追記事項記載欄（本表の資格・活動歴等に該当しない事項等を記入）

出願番号	志願者氏名
	フリガナ

志望学部／課程・学科	学校名等
学部　課程 学科	学校

A	B	C	D	＊1	＊2	＊3

●赤枠のみ記入

活動記録報告書（様式２：「探究活動重視型」用）

出願番号	志願者氏名
	フリガナ

志望学部／課程・学科	学校名等
学部　課程　学科	学校

１．課題設定とその理由

２．成果に至る過程・プロセス

3．成果

※ 発表資料（パワーポイント資料やポスター発表用紙など）をコピー（Ａ４サイズ）して添付してもかまいません。

４．各種発表会

※ 公的機関またはこれに準じる機関が主催した、全国・地方・都道府県レベル等の発表会の参加経験、受賞歴などを記載してください。大会プログラムや賞状などのコピー（Ａ４サイズ）を添付してください。

＊記入に当たっては、黒色のボールペンを使用し、楷書で丁寧に記入してください。

＊大　学
利用欄

A	B		C		D	＊1	＊2	＊3

2027年度 東北工業大学 AOVA選抜（１期）

座席配慮申請書

<table>
<tr><td>出願番号</td><td colspan="2">志願者氏名</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">志望学部／課程・学科</td><td>学校名等</td></tr>
<tr><td colspan="2">学部　　課程・学科</td><td>学校</td></tr>
<tr><td colspan="3">□ 座席配慮（前から１～２列目の座席）を希望する。</td></tr>
<tr><td>高校での座席配慮の内容</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※　記入に当たっては、黒色のボールペンを使用し、楷書で丁寧に記入してください。

※　上記の□にチェック（✓）してください。また、高校での座席配慮の内容を具体的に記入するとともに、視力検査結果（写）等の客観的に証明できる書類を添付してください。

2027年度

学生募集要項

総合型選抜

ＡＯＶＡ（アオバ）選抜（１期）

未来のエスキースを描く。

東北工業大学

TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY

［お問い合わせ］入試広報課
〒982-8577　宮城県仙台市太白区八木山香澄町35番1号
TEL.022-305-3111 FAX.022-228-1813
E-mail nyushi@tohtech.ac.jp
https://www.tohtech.ac.jp